

ふるさと富勢

令和4年7月(第314号) 1980年創刊
毎月1日 各戸配布 8,000部発行

編集発行 柏市富勢地域ふるさと協議会総務部
問合せ TEL 7132-3100 柏市布施 1196-5
(柏市布施近隣センター内)

ホームページ

<https://furusatotomise.com>

ふるさと富勢又はQRコードで検索



自治会・町会対抗グラウンドゴルフ大会

6月4日(土) 富勢運動場多目的広場で開催。



3年ぶりのグラウンドゴルフ大会は前日の雨でグラウンドの状況が心配されましたが、当日は晴天に恵まれ、10町会の選手70名が参加されプレーを楽しまれました。

「みんなで一緒にやるのはいいねえ」「いやあ愉快愉快」との参加者の言葉は、スタッフへうれしい言葉でした。

コロナ感染症対策の為、各町会1チーム参加として頂きました。早く複数のチームが参加できる状態になると良いですね。参加者の皆さん、運営スタッフの皆さんありがとうございました。

団体1位:根戸中町会 個人1位:小原花枝さん

大会は、1チーム6名と審判記録係1名で、10チームが16ホールで競いました。平均年齢74.4才でした。

団体成績

1位 根戸中町会(平均年齢78.0才) 打数266打

2位 前原町会(78.8才) 278打

3位 布施新町町会(82.5才) 282打

以下、宿連寺・高野台・布施新田・荒屋敷
土谷津・利根・寺山の順でした。

個人成績(同打数の時は年齢の高い順)

1位 小原花枝さん(布施新町) 40打

2位 公平和美さん(根戸中) 41打

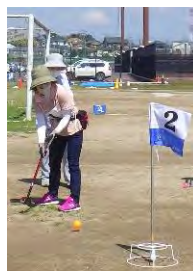
3位 東瀬洋子さん(前原) 41打

寿賞(男女別最高齢者)

男性 中村泰三さん(布施新町)

女性 武田武子さん(前原)

【体育部】



おはなし会だより

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止していた、おはなし会を再開しました。

紙芝居、絵本の読み聞かせ、手遊びをします。

みんなで楽しく遊ばしましょう。当日会場にお越し下さい。

おかあさんのおはなし会

布施近隣センター 和室 I 15:30~16:00

7月16日(土) 9月17日(土)

ねどちゃん

根戸近隣センター 会議室 D 10:30~11:00

7月1日(金) 9月2日(金)

お問い合わせ先 こども図書館 04-7108-1111

【こども図書館】

布施遊戯室イベントの案内 電話7135-3960

夏休み 青少年ボランティア体験希望者 募集

中学生~18歳を対象に、布施遊戯室において、乳幼児とのふれあいや、夏休みの行事の手伝いなど、ボランティア体験したい皆さんを募集しています。

7月21日(木)~8月31日(水) 13:00~17:00

※8月15日除く(休室日につき)

申込:7月2日(土) 14:00~電話で

1日2~3時間程度で、日時を調整します。

初めてのボランティア体験でも大歓迎です。

☆0才のじかん 13:30~15:00

7月6日(水)、13日(水)※夏休み中はお休みです

対象:0歳児と保護者 直接どうぞ

内容:0歳児と保護者を対象にした、親と子の交流や情報交換の場です。

☆なかよし広場 10:00~11:20

7月12日、26日、8月9日、23日 各火曜日

対象:乳幼児と保護者 直接どうぞ

内容:乳幼児と保護者を対象にした、親と子の交流や情報交換の場です。

☆ミニわいわい in 布施近隣センター 10:00~12:00

7月7日(木) ※8月はお休みです

対象:乳幼児と保護者 直接どうぞ

内容:手遊び、パネルシアター、エプロンシアターなどを親子で楽しめます。

★夏休みクラフト教室「箱庭サファリパーク」

7月23日(土) 9:30~11:30

対象:小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

場所:布施近隣センター1階会議室

内容:木や砂を使って、ミニチュアサファリパークを作ります。

参加費:300円

申込:7月3日(日) 14:00~電話で(先着8人)

★夏フェスタミニ

8月1日(月) 10:15~11:00

対象:乳幼児~小学生(未就学児は保護者同伴)

場所:布施近隣センター1階会議室

内容:お店屋さんごっこ、工作、金魚すくいごっこなどで遊びます。

申込:7月16日(土) 13:30~電話で(先着25人)

★枝絵アート

8月4日(木) 9:30~11:30

対象:小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

場所:布施近隣センター1階会議室

内容:木の枝を切ったものを組み合わせて、作品を作ります。

申込:7月2日(土) 13:30~電話で(先着8人)

【布施遊戯室】

「かしわお元気コール」とは？

柏市社会福祉協議会が行なっています。毎週金曜日に対象者の方へ、傾聴ボランティアから5分程度お電話をして、お身体の状態や近況等お話しを伺い、安心をお届けするサービスです。柏市内9ヶ所で活動していて、富勢では、富勢ちいきいきセンターが行なっています。



傾聴ボランティアを募集しています

10月から月に1~2回程度、金曜日の10時~12時に富勢ちいきいきセンターで、活動していただける傾聴ボランティアを募集しています。活動は、下記の養成講座を受講のあと行いますので、どなたにでもできます。

日時：9月2日(金) 13:30~15:00

会場：布施近隣センター 会議室 B

定員：15名程度 参加費：無料

申込締切り：8月26日(金)まで お待ちしております

受講 電話申込…月~金曜日 9:00~17:00

7128-9871 富勢ちいきいきセンター

(下記の時間以外は、柏市社協に転送します)

来所申込…火・水・金曜日 10:00~16:00

柏市布施1196-5 布施近隣センター

2階玄関ロビー内

「かしわお元気コール」を利用しませんか？

富勢地区にお住まいで、週1回決まった時間(金曜日の10時~12時)に、お声掛けを希望される方を対象に実施しております。利用料は無料で年齢制限もありません。

(ただし、医療福祉サービス等を週2回以上利用されている方は、ご利用いただけません。)

コロナ禍で家族や友人と会う機会が減り、不安を感じられている方、直接会うのは不安だけれど誰かと話がしたいと思われている方などの利用をお待ちしています。ご家族・友人からのおすすめても構いません。

ご本人からの利用申込のほか、ご家族・ご友人から利用に関するご相談や、その他「かしわお元気コール」の活動に興味を持たれた方は、上記富勢ちいきいきセンターで受け付けております。お問合せだけでも、お気軽にご連絡ください。 【富勢ちいきいきセンター】

点検中に屋根を壊された？

点検商法にご注意

近所で工事しているという事業者が来訪し「お宅の屋根がめくれているのが見えた。屋根に登って点検する」というので依頼した。

点検後、屋根が浮いている写真を見せられ、そのままにしておけないと思い、約30万円の修理を契約した。

その後、別のハウスメーカーに確認してもらおうと「釘を抜いたような新しい傷がある」と言われた。

- ・突然訪問してきた事業者が安易に点検させないようにしましょう。(悪質な業者かもしれません)
- ・もし、点検されて修理を勧められても、その場で契約しないこと。(別の業者に確認を依頼してみましょう)
- ・工事終了後でもクーリングオフできる場合があります。困った時は、柏市消費生活センターに相談しましょう。

柏市消費生活センター 04-7164-4100

又は ホットライン 188へ

【寄稿 消費生活コーディネーター富勢地区担当】



令和4年度 富学協がスタートしました！

5月20日(土)、令和4年度初めての学校運営協議会(富学協)が富勢東小学校にて開催されました。参加者は評議員20名と柏市教育委員会からのオブザーバー2名です。

まず、富勢地区各校(富勢中学校、富勢小学校、富勢西小学校、富勢東小学校)から活動報告があり、東小からは、漸減傾向が続いていた児童数が久しぶりに100名を超えたとのうれしい知らせがありました。

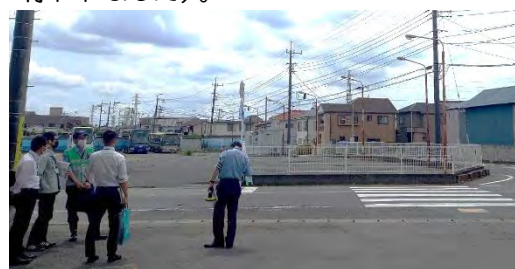
また西小からは、PTAがボランティアによる運営となり活発に活動していること、富小からは、安全指導や校外学習などについて、富学協の役割が増していることなどが指摘されました。

昨年来、みなさまにご協力いただいていた、通学路事情調査に関しては大きな進展がありました。西小学区の危険箇所を柏市教育委員会に報告したところ、警察、土木事務所など関係各所が現地調査することになり、解決に向けて大きな一歩を踏み出したのです(実際、現地調査は5月27日に行われました)。

今後は通学路を示す緑の線や一時停止の白線の引き直しなど短期間に対応できるものと、信号機の設置など対応に時間がかかるものを峻別しながら対策を練ることになっています。富小、東小学区に関しても順次教育委員会に報告をあげていく予定です。

さて、富学協は、今年度も涌井会長・吉田副会長体制で、学校と地域の橋渡し役として貢献してまいります。ご支援をよろしく願います。

【寄稿 富勢中学校区学校運営協議会(富学協)】



認知症サポーター養成講座開催(宿連寺)

いこい宿連寺『たすけあい活動』が窓口となり、5/21土曜日、宿連寺会館にて行われました。

認知症サポーターとは、この養成講座の受講者で、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職場で認知症の人や家族に対して、出来る範囲での手助けをする応援者を言います。

講座には22名受講いただき、アンケートには、『認知症を起こす原因の多くは病気によるものだと認識できた。』という回答が多かったです。認知症の人が、できるだけ自分の意志で普通に暮らせる、まちづくりのための小さな一歩になったのではないのでしょうか。

『認知症サポーター養成講座』は5名以上集まれば、出張講座を行ってくれます。地域包括支援センターが窓口です。 【寄稿 宿連寺町会】



一両面ご覧下さい